

新規事業採択時評価結果(令和6年度新規事業化箇所)

担当課:道路局 国道・技術課  
担当課長名:高松 諭

事業の概要

|           |   |       |            |      |                  |
|-----------|---|-------|------------|------|------------------|
| 事業名       | 一般国道4号<br>みずさわかねがさき<br>水沢金ヶ崎道路  | 事業区分  | 一般国道       | 事業主体 | 国土交通省<br>東北地方整備局 |
| 起終点       | 自:岩手県奥州市水沢佐倉河字竈堂<br>至:岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根土橋上   | 延長    | 3.1km      |      |                  |
| 事業概要      | 一般国道4号は、東京都中央区を起点に岩手県内を南北に縦断し青森県青森市に至る主要幹線道路である。このうち水沢金ヶ崎道路は、交通混雑の緩和や地域産業支援等を目的とした延長3.1kmの道路事業である。        |       |            |      |                  |
| 事業の目的、必要性 | 対象区間整備により交通容量が確保され、交通混雑を緩和し交通の速達性を確保するとともに、県南地域の工業団地をはじめとした産業集積地への円滑な物流経路を確保し、地域産業支援や救急医療活動を支援することを目的とする。 |       |            |      |                  |
| 全体事業費     | 約150億円  | 計画交通量 | 約30,200台/日 |      |                  |
| 事業概要図     |   |       |            |      |                  |

事業評価結果

|                |                     |   |             |  |       |       |          |       |     |      |
|----------------|---------------------|---|-------------|--|-------|-------|----------|-------|-----|------|
| 費用<br>便益<br>分析 | B/C                 | 1.9   | EIRR        | 8.5%   | 総費用   | 111億円 | 総便益      | 214億円 | 基準年 | 令和5年 |
|                | (参考)                | 2.8 [2%]<br>3.4 [1%]  |             |  | 事業費   | 102億円 | 走行時間短縮便益 | 205億円 |     |      |
|                |                     |   |             |  | 維持管理費 | 8.2億円 | 走行経費減少便益 | 8.7億円 |     |      |
| 感度分析           |                     | 交通量変動   | B/C=1.8~2.0 | (変動ケース:±10%)   |       |       |          |       |     |      |
|                |                     | 事業費変動   | B/C=1.8~2.1 | (変動ケース:±10%)   |       |       |          |       |     |      |
|                |                     | 事業期間変動  | B/C=1.8~2.1 | (変動ケース:±20%)   |       |       |          |       |     |      |
| 事業の<br>影響      | 自動車や<br>歩行者への<br>影響 | 評価項目  | 評価          | 根拠   |       |       |          |       |     |      |
|                |                     | 渋滞対策  | ◎           | ・交通容量の確保により東北道が通行止めとなった場合でも一定の速達性を確保<br>【旅行速度】<br>現況:37km/h → 整備後:48km/h(11km/h向上)<br>【東北自動車道通行止め時の旅行速度】<br>現況:14km/h → 整備後:43km/h(29km/h向上) |       |       |          |       |     |      |
|                |                     | 事故対策  | ○           | ・速度低下に起因するとされる追突事故の発生割合が約9割と高い<br>・当該区間の整備により、混雑に起因した追突事故が減少するとともに、安全で快適な走行性を確保<br>【死傷事故率】現況:12件/億台キロ → 整備後:10件/億台キロ(約2割減少)                  |       |       |          |       |     |      |
|                | 歩行空間                | —   | ・注目すべき影響はない |  |       |       |          |       |     |      |
|                | 社会全体への<br>影響        | 住民生活  | ◎           | ・二次救急医療施設への円滑な搬送経路を確保し、搬送時間を短縮。<br>【時間短縮 金ヶ崎町～二次救急医療機関(県立胆沢病院)への搬送時間】<br>現況:18分 → 整備後:16分(2分短縮)  |       |       |          |       |     |      |
|                |                     | 地域経済  | ◎           | ・交通混雑の解消により、対象区間付近の工業団地をはじめとした道路利用者の産業活動を支援<br>【混雑度】現況:1.41 → 整備後:0.69(約5割減少)  |       |       |          |       |     |      |
| 災害             |                     | —   | ・注目すべき影響はない |  |       |       |          |       |     |      |
| 環境             |                     | —   | ・注目すべき影響はない |  |       |       |          |       |     |      |
| 地域社会           | ○                   | ・東北自動車道の水沢ICのアクセス性向上が期待される  |             |  |       |       |          |       |     |      |
| 事業実施環境         |                     | ・都市計画決定手続き完了(S51.3.16)<br>・岩手県知事、奥州市長、国道4号岩手県南地域拡幅整備促進期成同盟会等により早期事業化を要望 |             |  |       |       |          |       |     |      |

採択の理由

費用便益比が1.9と便益が費用を上回っているとともに、都市計画手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。  
 また、交通の速達性及び安全性の向上、地域産業の活性化や地域の救急医療活動の支援など、当該事業の整備の必要性・効果は高いと判断できる。  
 以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。  
 ※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([ ]内は社会的割引率の値)

関係する地方公共団体等の意見  
**【岩手県知事】**  
 予算化することについて同意します。  
 国道4号は県内陸部を南北に縦断する主要幹線道路であり、うち奥州市及び金ヶ崎町を含む県南地域は、自動車関連産業や半導体関連企業などの産業集積地であり、企業立地の安定的な生産活動や円滑な物流を支えるために、国道4号の整備が極めて重要です。  
 この奥州市水沢佐倉河字竈堂から胆沢郡金ヶ崎町西根土橋上間の国道4号は、前後が4車線やバイパスとして事業中の区間に挟まれた2車線道路であり、増大する交通に対するボトルネック区間となっていることから、速度低下に加え、併走する東北自動車道の事故等による通行止め時による国道4号への交通集中が課題となっております。  
 このため、対象区間の円滑な交通確保が急務であることから水沢金ヶ崎道路の令和6年度の新規事業化について、特段のご配慮をお願いいたします。

学識経験者等の第三者委員会の意見  
 ・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件  
 ■費用対便益 : 便益が費用を上回っている。  
 ■手続きの完了 : 都市計画決定手続き完了(S51.3.16)